



アウトリーチ研修

NPO法人 キャリア・ファシリテーター協会

平成25年度の本研修に参加

・ 実地研修場所

NPO法人教育研究所

宇奈月自立塾

TEL 0765-62-9681 FAX 0765-62-1120

〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉5509-16



NPO法人教育研究所

宇奈月自立塾



宇奈月自立塾

- ・ひきこもり・ニートの若者の社会復帰、就労を目指すための支援塾。

合宿形式による共同生活のなかで、生活訓練・就労体験を行い、社会人・職業人として必要な基礎能力の習得を図るとともに、働くことに関して自信と意欲を身につける。

にいかわ若者サポートステーション

- ・にいかわ若者サポートステーションは、「社会参加」や「働くこと」にいたる前に困っている若者（おおむね15歳～39歳）、あるいはご家族と一緒に考えたり、何かを試してみたり、一歩をふみ出すきっかけづくりを手伝い、「社会的自立」を目指すための総合的な窓口。相談事業(来所相談・訪問相談)
- ・サポートプログラムの実施
 - ビジネスマナー
 - グループワーク
 - 学び直し
 - スポーツ
 - PCスキルなど
 - 職場体験などの就労に向けた包括的訓練など

NPO法人教育研究所

宇奈月自立塾



一日のスケジュール

- ・ AM6:00 朝食準備(塾生が自主的にお手伝い)
- ・ AM6:30 散歩・体操(スタッフ、塾生も参加)
- ・ AM7:00 朝食と後片付け(全員一緒にダイニングにて)
- ・ AM9:00 訓練
- ・ PM12:00 昼食準備・昼食・後片付け
- ・ PM1:00 訓練
- ・ PM5:00 訓練終了
- ・ PM5:30 夕食準備
- ・ PM6:00 夕食・後片付け
- ・ PM7:00 (週1回ミーティング)



訓練の内容

- ・ 集団生活をしながら生活リズム改善
- ・ ビジネスマナー研修、コミュニケーションスキルアップのためのグループワーク
- ・ 塾内工房(ゴルフクラブ修理・製造など)での仕事体験
- ・ 協力企業にて職場体験
- ・ ソフトバレーやソフトボールなどスポーツ活動

など

支援の例・Aさん(23)男性 一架空一

- ・ IT関係の会社で働いていたが、長時間残業や休日にもなかなか休めないという勤務を続けた結果、精神的・肉体的負担により体調を崩し自主退社。しばらくは預貯金を取り崩しながら、療養していたが、気が付けば雇用保険給付の期間もすぎ預貯金も底をついてしまった。
- ↓
- ・ 求職活動もできず、ネット依存に陥り生活が成り立たなくなる。
- ↓
- ・ 市役所の生活保護担当の職員から、自立塾に連絡が入る。
- ↓
- ・ アウトリーチによる相談を重ね自立塾での訓練の決定。

Aさんの自立塾での生活(最初の一カ月)

- ・ 集団生活に慣れるまでは、毎日相談を重ねながら、生活リズムを整えていく。
- ↓
- ・ 同年代の男性2人と相部屋生活を送る中で、コミュニケーション能力が回復していく。
- ↓
- ・ ビジネスマナー研修に参加、また職業適性検査などを行い、将来の見通しをつけていく。
- ↓
- ・ 毎朝の体操、毎週のスポーツ活動、筋力アップトレーニングなどにより体力の向上とともに、気力が充実してくる。

一カ月以降のAさんの生活と、スタッフとのかかわり

- ・ スタッフと一緒に市役所へ、ケースワーカーとの面談。
- ・ 退職前後から通っていたメンタルクリニックへの通院にスタッフ同行。本人診察のあと、スタッフが医師と面談。最近の様子を話し、共通理解のもと訓練のプログラムの調整。
- ・ 塾内ゴルフ工房にて職業訓練を続け、職業意識を高める。
- ・ スタッフ送迎により、協力企業である地ビール工場での職場体験。同塾生が先だって体験に通っているなので、頼ることができ、人間関係もスムーズに作れる。最初は工場内でビールの製造の仕事をしていたが、コミュニケーションスキルも徐々に高まっていったので、ウェイターとして接客やレジなども経験。その後、他体験先での就労体験をおこない、スタッフと相談しながら自分の働き方や就労先のイメージを作っていく。

実際私が体験したかかわり

市役所同行、ワーカーさんとの面談

- ・ 支援を開始する前の若者と一カ月後の本人との違いを驚かされているワーカーの様子が印象的だった



クリニック同行、医師と面談

- ・ 精神面も含め、本人の若者の体調に配慮できるように医療とのつながりは大切



Aさんの就労活動

- ・履歴書の書き方の指導や添削をうけたり、面接の練習を繰り返ししながら、スタッフとともにハローワークに出かけて仕事探しを行う。



- ・一人暮らしに戻ることで、ネット環境も自由になり、リズムを崩さず生活することにまだ自信が持てないということで、このまま塾より通えるホテルへの就労が決まる。



- ・ホテルには塾のOBの方も社員として働いており、日常業務の中でも気にかけてくれていて働きやすい環境を作ってもらえている。塾から仕事場に通り、お給料の中から塾の費用を支払い、先輩塾生として、スタッフの手伝いもしながら充実した毎日を送っている。

職場体験先 1

- ・地ビール工場
ビール館

